

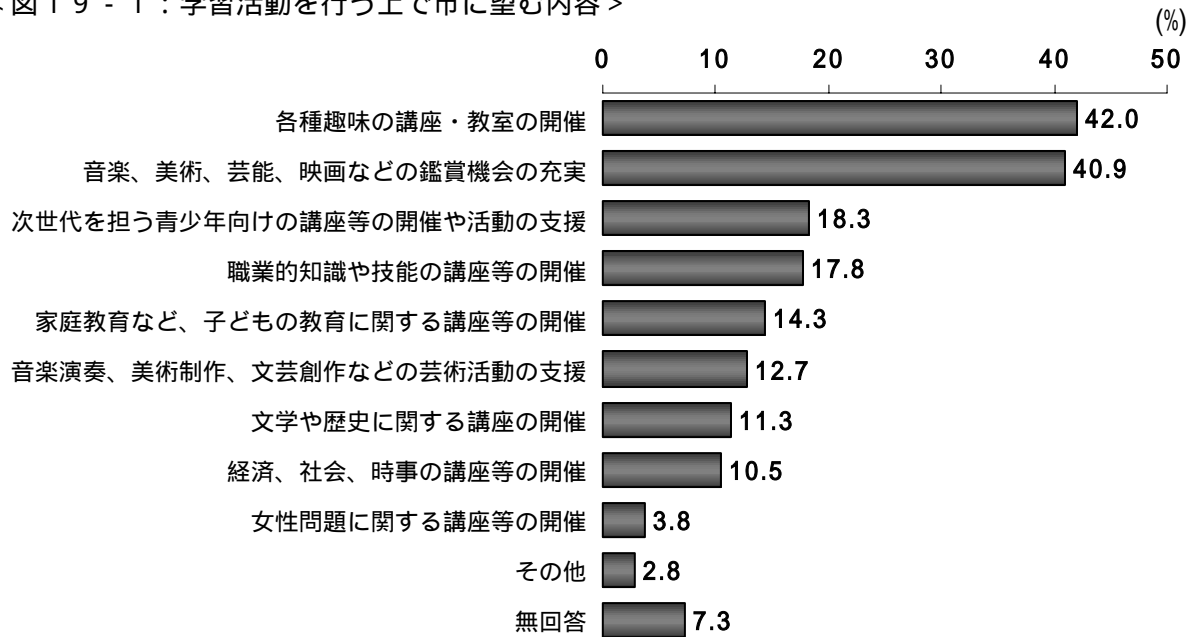
19 生涯学習

(1) 学習活動を行う上で市に望む内容

問33 あなたが学習活動を行う上で、市にどのようなことを望みますか。次の中から2つまでお答えください。

[n = 684]

< 図19-1：学習活動を行う上で市に望む内容 >



【全体】

学習活動を行う上で市に望む内容としては、「各種趣味の講座・教室の開催」が42.0%と最も高く、次いで「音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実」が40.9%と上位2項目が他を大きく引き離している。

【経年比較】

経年変化でみると、「各種趣味の講座・教室の開催」は前回調査（平成14年）と比較して数値は若干上がった。また、前回調査において3位だった「職業的知識や技能の講座等の開催」は今回調査においては17.8%で圏外となり9.8ポイント減少した。

< 表19-1：学習活動を行う上で市に望む内容：経年比較 >

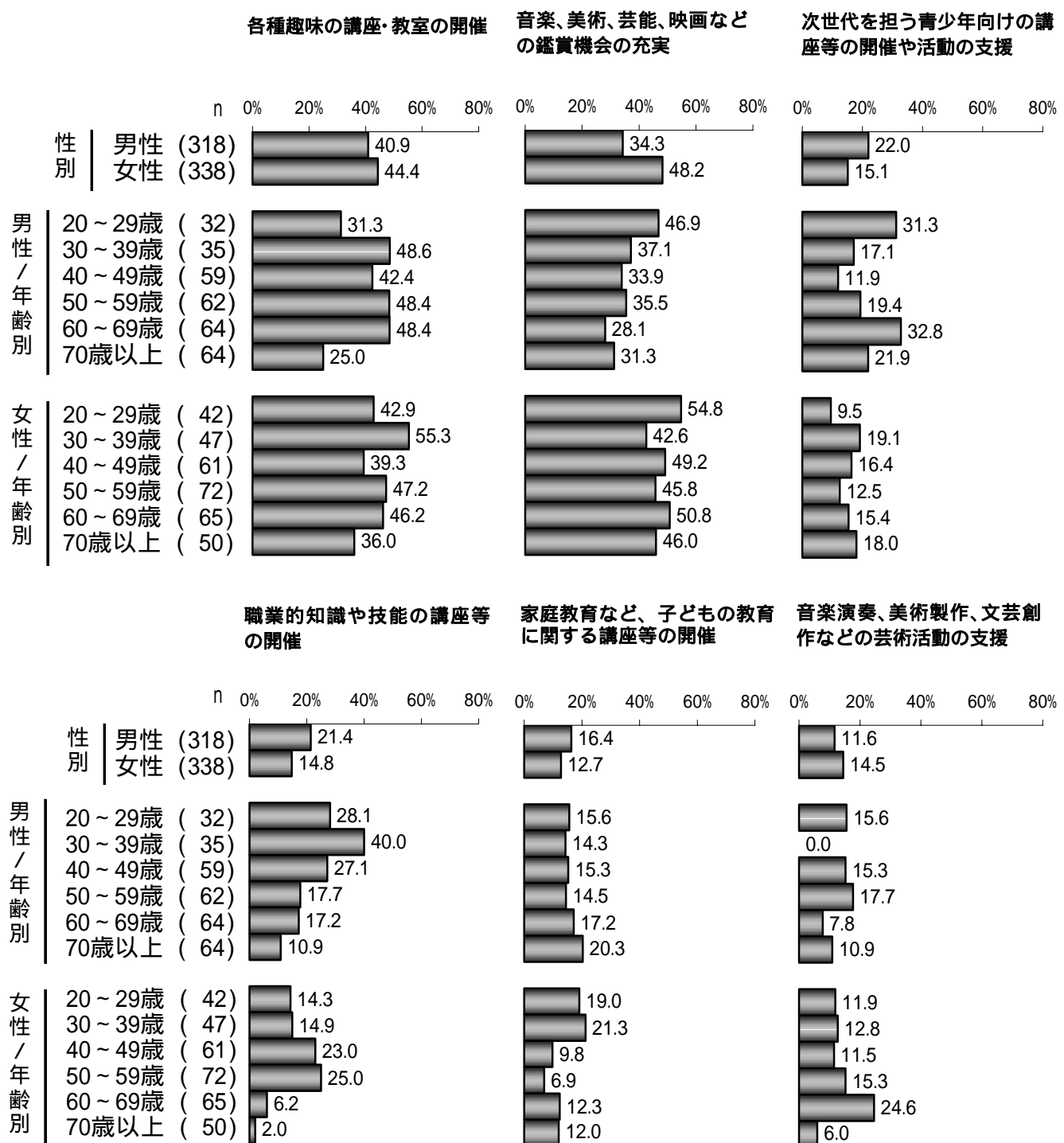
順位	平成11年 [n = 755]	平成14年 [n = 652]	平成17年 [n = 684]
1位	各種趣味の講座・教室の開催 48.3	各種趣味の講座・教室の開催 48.2	各種趣味の講座・教室の開催 48.2
2位	音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実 38.8	音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実 44.2	音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実 20.8
3位	職業的知識や技能の講座等の開催 29.4	職業的知識や技能の講座等の開催 27.6	次世代を担う青少年向けの講座等の開催や活動の支援 20.3

【性別・性/年齢別】

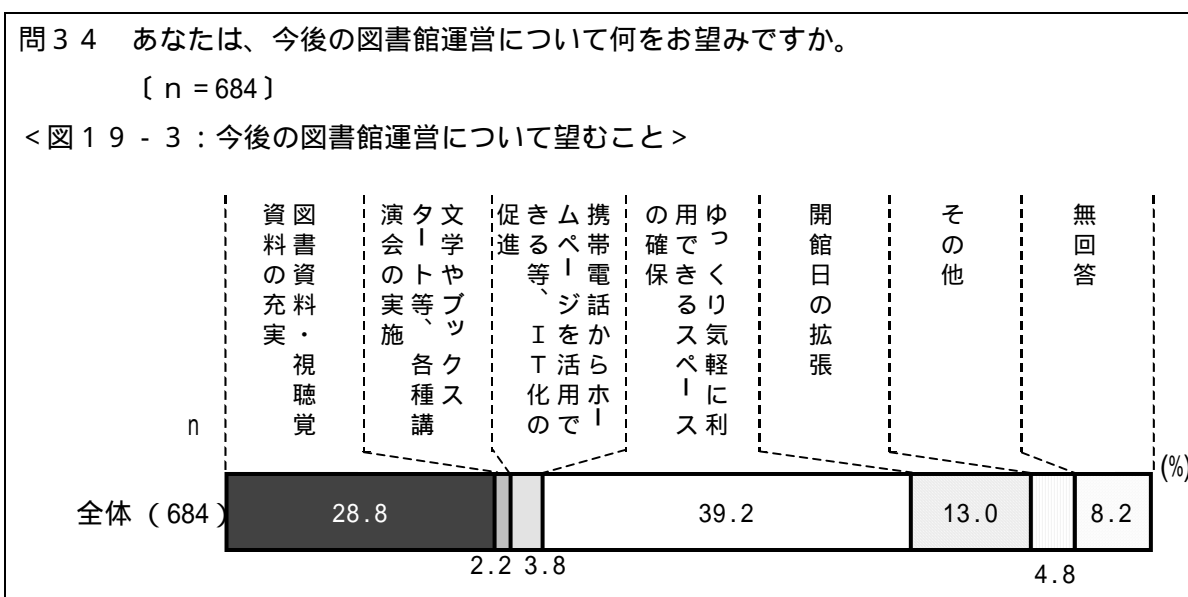
性別で見ると、「音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実」は男性(34.3%)、女性(48.2%)となっており、女性が男性を13.9ポイント上回っている。

性/年齢別で見ると、「各種趣味の講座・教室の開催」は女性の30歳代が55.3%と他の性/年齢層より高くなっている。また、「音楽、美術、芸能、映画などの鑑賞機会の充実」は女性の20歳代(54.8%)、「次世代を担う青少年向けの講座等の開催や活動の支援」は男性の20歳代(31.3%)、60歳代(32.8%)で他の性/年齢層より比較的高くなっている。

<図19-2：性別・性/年齢別：上位6項目>



(2) 今後の図書館運営について望むこと



【全体】

今後の図書館運営について望むこととしては、「ゆっくり気軽に利用できるスペースの確保」が39.2%と最も高く、次いで「図書資料・視聴覚資料の充実」が28.8%となっており、上位2項目が他の項目より高い数値を示している。

【経年比較】

前回調査（平成14年）と比較すると、上位の順位は前回と変わらないが、「図書資料・視聴覚資料の充実」が7.0ポイント、「ゆっくり気軽に利用できるスペースの確保」が6.2ポイント増加している。

<表19-1：学習活動を行う上で市に望む内容：経年比較>

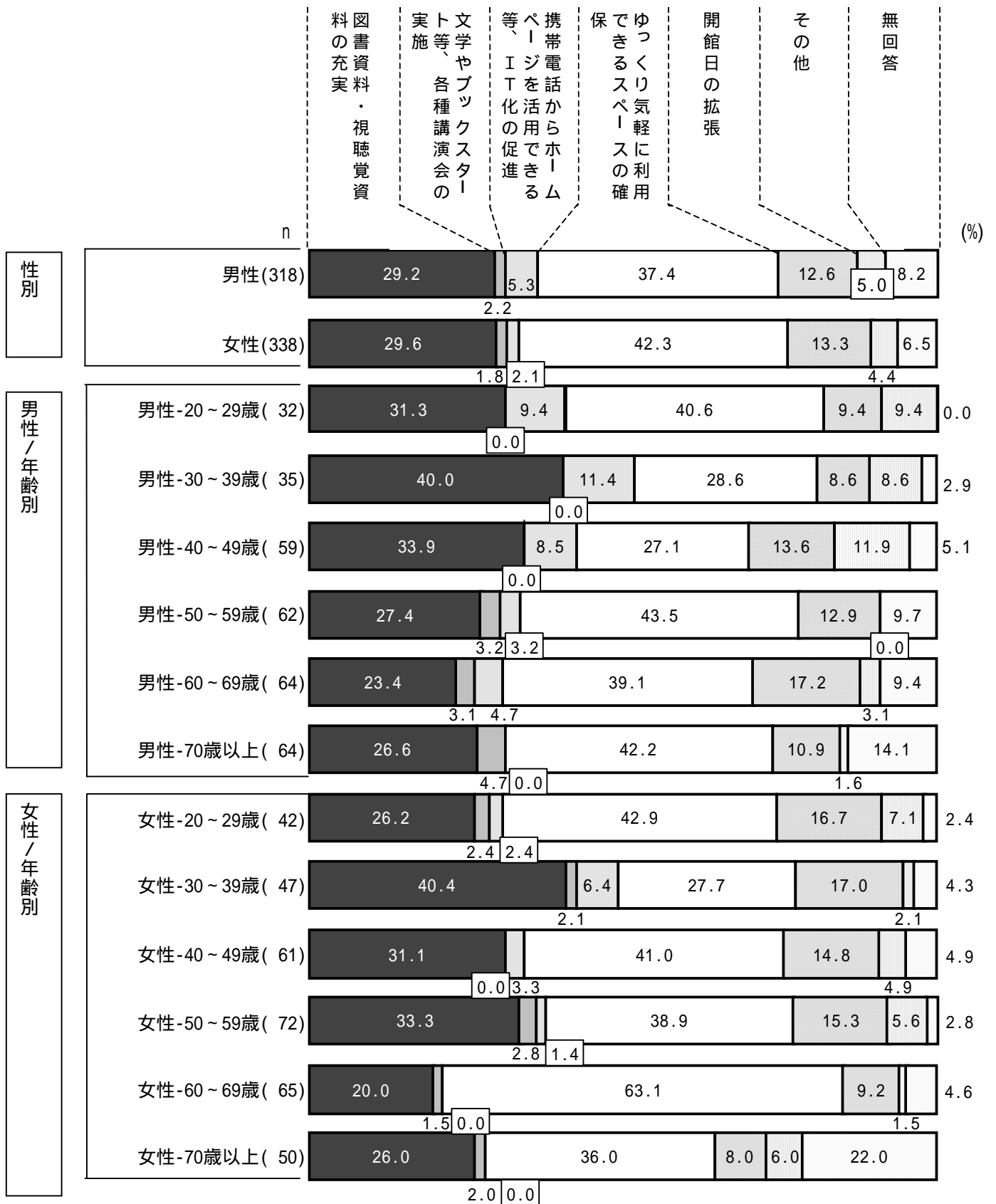
順位	平成14年 〔n = 652〕	平成17年 〔n = 684〕
1位	ゆっくり気軽に利用できるスペースを確保する 33.0	ゆっくり気軽に利用できるスペースの確保 39.2
2位	図書資料の充実 21.8	図書資料、視聴覚資料の充実 28.8
3位	開館時間を拡張する 16.3	開館日の拡張 13.0

【性別・性/年齢別】

性別では、特に大きな差異はみられない。

性/年齢別で見ると、「ゆっくり気軽に利用できるスペースの確保」が女性の60歳代が63.1%と最も高くなっている。他方、「図書資料・視聴覚資料の充実」は、男女ともに30歳代がそれぞれ40.0%、40.4%と他の性/年齢層と比較して高くなっている。

< 図 19-4 : 性別・性 / 年齢別 >



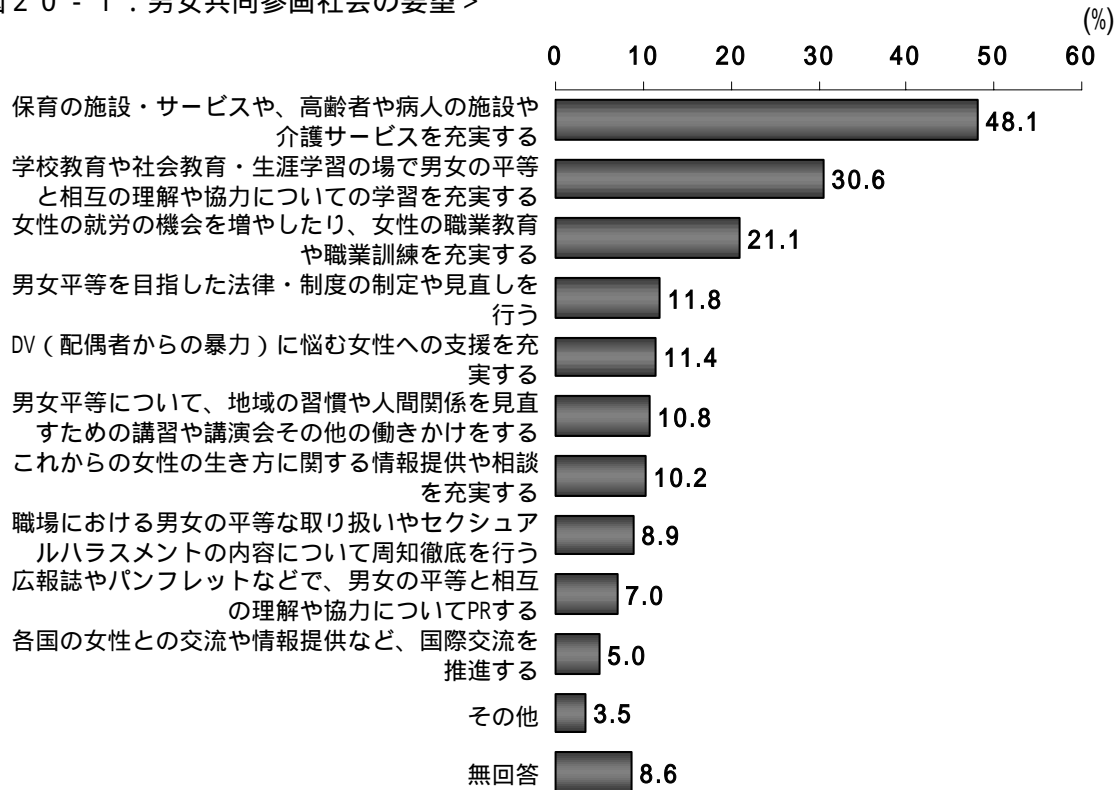
2 0 男女共同参画社会

(1) 男女共同参画社会の要望

問 3 5 市では男女平等推進条例策定に向けて取り組んでいます。男女が平等な立場で支え合う男女共同参画社会を形成するため、あなたは市にどのようなことを望みますか。次の中から2つまでお答えください。

[n = 684]

< 図 2 0 - 1 : 男女共同参画社会の要望 >



【全体】

男女共同参画社会の要望としては、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が48.1%と最も高く、次いで「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が30.6%、「女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実させる」が21.1%と続いている。

【経年比較】

前回調査（平成14年）と比較して、順位に変動はないが、「学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する」が前回調査と比較して7.6ポイント増加した。

<表20-1：男女共同参画社会の要望：経年比較>

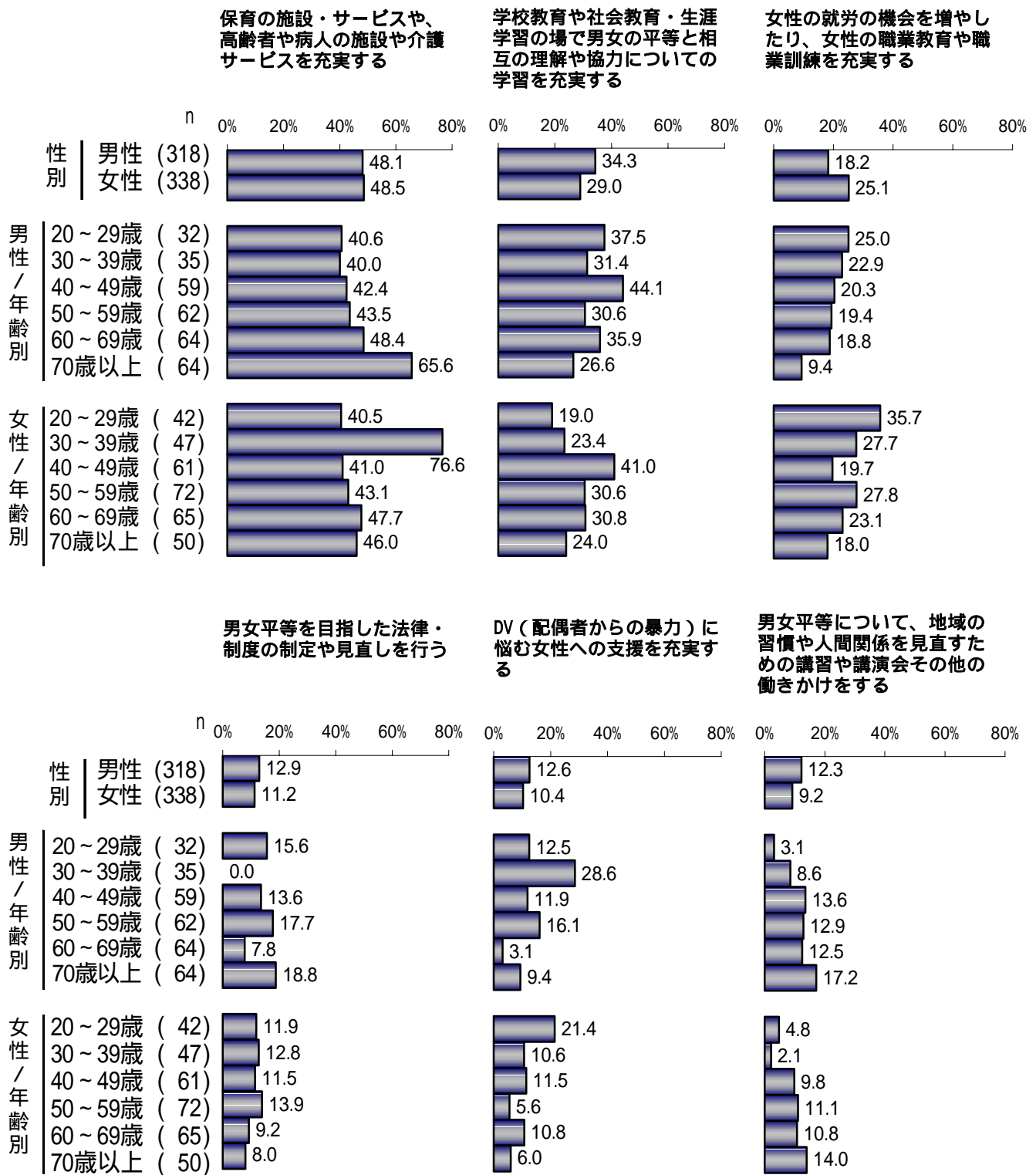
順位	平成14年 〔n = 652〕	平成17年 〔n = 684〕
1位	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する 52.1	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する 48.1
2位	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する 23.0	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する 30.6
3位	女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する 21.9	女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する 21.1

【性別・性/年齢別】

性別では、「女性の就労の機会を増やしたり、女性の職業教育や職業訓練を充実する」が、女性（25.1%）男性（18.2%）となっており、女性が6.9ポイント上回っている。

性/年齢別でみると、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」は女性の30歳代、男性の70歳以上がそれぞれ76.6%、65.6%となっており、他の性/年齢層と比較して高くなっている。

< 図 2 0 - 2 : 性別・性 / 年齢別 >



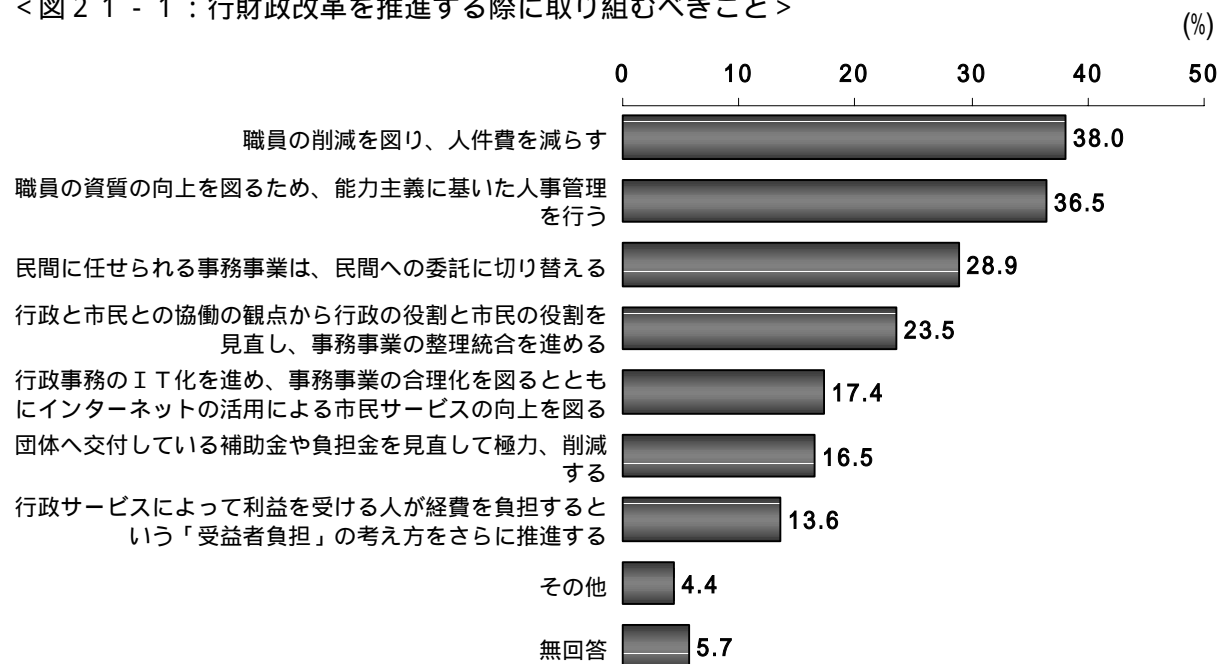
2 1 行財政改革

(1) 行財政改革を推進する際に取り組むべきこと

問3 6 市では、社会経済状況の変化や多様化、複雑化する市民の行政への期待に対応するため、簡素で効率的な行政システムの確立と安定した行財政運営を目指し、平成15年9月に行財政改革実施計画を策定し、財政の健全化、職員定数の削減などに取り組み、行財政改革を推進しています。そこで、特に取り組むべきと思われるものを次の中から2つまでお答えください。

[n = 684]

< 図 2 1 - 1 : 行財政改革を推進する際に取り組むべきこと >



【全体】

行財政改革を推進する際に取り組むべきこととしては、「職員の削減を図り、人件費を減らす」が38.0%と最も高く、次いで「職員の資質の向上を図るため、能力主義に基いた人事管理を行う」が36.5%、「民間に任せられる事務事業は、民間への委託に切り替える」が28.9%で続いている。

【性別・年齢別・就業形態別】

性別で見ると、「民間に任せられる事務事業は、民間への委託に切り替える」が男性(31.8%)、女性(26.6%)となっており、男性が5.2ポイント上回っている。

年齢別で見ると、「職員の削減を図り、人件費を減らす」は60歳代が47.7%と最も高くなっている。また、「民間に任せられる事務事業は、民間への委託に切り替える」は50歳代が37.8%と他の年齢層と比較して高くなっている。

就業形態別で見ると、「職員の資質の向上を図るため、能力主義に基いた人事管理を行う」は家族従業と学生がそれぞれ55.6%、52.4%と他の就業形態と比較して高くなっている。

< 図 2 1 - 2 : 性別・年齢別・就業形態別 >

